

問題 2

3次元直交座標系の3軸を x, y, z とする. 真空中に原点を中心とする半径 a の円 C が xy 平面上にある. C の円周上に固定された線密度 q の電荷が様に分布している.

I. まず, C が静止している場合について考える. 真空中の位置 \mathbf{r}' に置かれた点電荷 Q が位置 \mathbf{r} に作る静電ポテンシャル ϕ_0 は

$$\phi_0(\mathbf{r}) = \frac{Q}{4\pi\epsilon_0|\mathbf{r} - \mathbf{r}'|}$$

と表される. ここで, ϵ_0 は真空の誘電率である. 以下の問いに答えよ.

(1) C の電荷によって位置 $\mathbf{r} = (0, 0, z)$ に生じる静電ポテンシャル $\phi(\mathbf{r})$ を求めよ.

答案

$$\phi(\mathbf{r}) = \int_0^{2\pi} \frac{qa \, d\theta}{4\pi\epsilon_0\sqrt{z^2 + a^2}} = \frac{qa}{2\epsilon_0\sqrt{z^2 + a^2}}.$$

(2) C の電荷によって位置 $\mathbf{r} = (0, 0, z)$ に生じる電場 $\mathbf{E}(\mathbf{r})$ を求めよ. また, 原点に置かれた点電荷 Q' が受ける力を求めよ.

答案 $\mathbf{E}(\mathbf{r}) = -\nabla\phi(\mathbf{r})$ より,

$$E_x(\mathbf{r}) = E_y(\mathbf{r}) = 0, \quad E_z(\mathbf{r}) = \frac{qaz}{2\epsilon_0(z^2 + a^2)^{\frac{3}{2}}}.$$

また, $\mathbf{E}(\mathbf{0}) = \mathbf{0}$ なので, 原点に置かれた点電荷が受ける力は $\mathbf{0}$ である.

(3) C の電荷分布による位置 $\mathbf{r} = (x, y, z)$ での電場 $\mathbf{E}(\mathbf{r})$ は, C の線要素ベクトル $d\mathbf{r}'$ の大きさを $ds' = |d\mathbf{r}'|$ として,

$$\mathbf{E}(\mathbf{r}) = \frac{1}{4\pi\epsilon_0} \int_C q \, ds' \frac{\mathbf{r} - \mathbf{r}'}{|\mathbf{r} - \mathbf{r}'|^3}$$

と書ける. ここで, z 軸まわりの方位角 φ を用い, C 上の座標を $\mathbf{r}' = (a \cos \varphi, a \sin \varphi, 0)$ と表すのが便利である. $|\mathbf{r}| \ll a$ の条件で, x, y, z の1次の項まで展開した式

$$|\mathbf{r} - \mathbf{r}'|^{-3} \sim a^{-3} \left[1 + \frac{3}{a}(x \cos \varphi + y \sin \varphi) \right]$$

を利用して, 原点近傍における $\mathbf{E}(\mathbf{r})$ を計算せよ. このとき, q と逆符号の点電荷を原点から z 軸方向にわずかにずれた位置に置いたとき, 点電荷が受ける力の向きを答えよ. また, ずれの方向が xy 平面上 ($z = 0$) のとき, 点電荷が受ける力の向きを答えよ.

答案 原点近傍において,

$$\begin{aligned}
 \mathbf{E}(\mathbf{r}) &= \frac{1}{4\pi\epsilon_0} \int_C q \, ds' \frac{\mathbf{r} - \mathbf{r}'}{|\mathbf{r} - \mathbf{r}'|^3} \\
 &\sim \frac{q}{4\pi\epsilon_0} \int_0^{2\pi} a \, d\varphi \begin{pmatrix} x - a \cos \varphi \\ y - a \sin \varphi \\ z \end{pmatrix} \left(1 + \frac{3x}{a} \cos \varphi + \frac{3y}{a} \sin \varphi \right) \\
 &= \frac{q}{4\pi\epsilon_0} \int_0^{2\pi} d\varphi \begin{pmatrix} (x - a \cos \varphi)(a + 3x \cos \varphi + 3y \sin \varphi) \\ (y - a \sin \varphi)(a + 3x \cos \varphi + 3y \sin \varphi) \\ az + 3ax \cos \varphi + 3ay \sin \varphi \end{pmatrix} \\
 &= \frac{q}{4\pi\epsilon_0} \int_0^{2\pi} d\varphi \begin{pmatrix} ax - 3ax \cos^2 \varphi \\ ay - 3ay \sin^2 \varphi \\ az \end{pmatrix} \\
 &= \frac{q}{4\pi\epsilon_0} \begin{pmatrix} 2\pi ax - 3\pi ax \\ 2\pi ay - 3\pi ay \\ 2\pi az \end{pmatrix} \\
 &= \frac{qa}{4\epsilon_0} \begin{pmatrix} -x \\ -y \\ 2z \end{pmatrix}.
 \end{aligned}$$

また, q と逆符号の点電荷が受ける力は, ずれが z 軸方向のときずれを小さくする向きに, ずれが xy 平面上のときずれを大きくする向きに, いずれもずれと並行にはたらく.

II. 次に, C が原点を中心に電荷とともに xy 平面内で一定の角速度で回転する場合を考える. 回転の向きは z 軸の z が正の領域から見て反時計回りとする. これは, 回路 C に定常電流 I が生じている状況に他ならない. この電流 I による位置 \mathbf{r} におけるベクトルポテンシャル $\mathbf{A}(\mathbf{r})$ は

$$\mathbf{A}(\mathbf{r}) = \frac{\mu_0 I}{4\pi} \int_C \frac{d\mathbf{r}'}{|\mathbf{r} - \mathbf{r}'|}$$

で与えられる. ここで, μ_0 は真空の透磁率である. \mathbf{r}' は C 上の位置, $d\mathbf{r}'$ は C の線要素ベクトルである. 以下の問いに答えよ.

(4) C の電流 I による原点近傍の位置 $\mathbf{r} = (x, y, z)$ におけるベクトルポテンシャル $\mathbf{A}(\mathbf{r}) = (A_x, A_y, A_z)$ を, $|\mathbf{r}| \ll a$ の条件で $|\mathbf{r} - \mathbf{r}'|^{-1}$ を x, y, z の 1 次の項まで展開した式を利用して求めよ.

答案

$$\frac{1}{|\mathbf{r} - \mathbf{r}'|} = [(x - a \cos \varphi)^2 + (y - a \sin \varphi)^2 + z^2]^{-\frac{1}{2}}$$

より,

$$\left. \frac{1}{|\mathbf{r} - \mathbf{r}'|} \right|_{\mathbf{r}=0} = \frac{1}{|\mathbf{r}'|} = \frac{1}{a},$$

$$\begin{aligned}\left(\frac{\partial}{\partial x} \frac{1}{|\mathbf{r} - \mathbf{r}'|}\right)\bigg|_{\mathbf{r}=0} &= -\frac{x - a \cos \varphi}{|\mathbf{r} - \mathbf{r}'|^3}\bigg|_{\mathbf{r}=0} = \frac{\cos \varphi}{a^2}, \\ \left(\frac{\partial}{\partial y} \frac{1}{|\mathbf{r} - \mathbf{r}'|}\right)\bigg|_{\mathbf{r}=0} &= \frac{\sin \varphi}{a^2}, \\ \left(\frac{\partial}{\partial z} \frac{1}{|\mathbf{r} - \mathbf{r}'|}\right)\bigg|_{\mathbf{r}=0} &= 0,\end{aligned}$$

なので, 原点近傍において,

$$\frac{1}{|\mathbf{r} - \mathbf{r}'|} \sim \frac{1}{a} + \frac{x \cos \varphi}{a^2} + \frac{y \sin \varphi}{a^2} = \frac{1}{a^2}(a + x \cos \varphi + y \sin \varphi)$$

となる. よって, 原点近傍で,

$$\begin{aligned}\mathbf{A}(\mathbf{r}) &\sim \frac{\mu_0 I}{4\pi} \int_0^{2\pi} \begin{pmatrix} -a \sin \varphi \, d\varphi \\ a \sin \varphi \, d\varphi \\ 0 \end{pmatrix} \frac{1}{a^2}(a + x \cos \varphi + y \sin \varphi) \\ &= \frac{\mu_0 I}{4\pi a} \int_0^{2\pi} d\varphi \begin{pmatrix} -y \sin^2 \varphi \\ x \cos^2 \varphi \\ 0 \end{pmatrix} \\ &= \frac{\mu_0 I}{4\pi a} \begin{pmatrix} -\pi y \\ \pi x \\ 0 \end{pmatrix} \\ &= \frac{\mu_0 I}{4a} \begin{pmatrix} -y \\ x \\ 0 \end{pmatrix}\end{aligned}$$

となる.

(5) (4) で求めたベクトルポテンシャルを使って磁束密度 \mathbf{B} を求めよ.

答案 $\mathbf{B} = \nabla \times \mathbf{A}$ より,

$$B_x = B_y = 0, \quad B_z = \frac{\mu_0 I}{2a}.$$

(6) C の z 軸まわりの慣性モーメントと角運動量ベクトルをそれぞれ \mathcal{I}_C , \mathbf{L} とする. 電流 I を $a, q, \mathcal{I}_C, \mathbf{L}$ の大きさ L によって表せ. また, ここで求めた表式と (5) の結果を用いて \mathbf{B} と \mathbf{L} の関係を求めよ. さらに, 原点に磁気モーメント \mathbf{M} を置くと, \mathbf{M} と \mathbf{B} のポテンシャルエネルギー (相互作用エネルギー) V が $V = -\mathbf{M} \cdot \mathbf{B}$ で表されるとして, V を \mathbf{M} と \mathbf{L} の内積を含む式で表せ.

答案 C の回転の角速度は $\frac{L}{\mathcal{I}_C}$ なので, $I = \frac{qaL}{\mathcal{I}_C}$ である. また, $B_z = \frac{\mu_0 qL}{2\mathcal{I}_C}$ で, \mathbf{L} は z 軸正の向きなので, $\mathbf{B} = \frac{\mu_0 q}{2\mathcal{I}_C} \mathbf{L}$ が成り立つ. よって, 原点に磁気モーメント \mathbf{M} を置いたとき, 相互作用のポテンシャルエネルギーは $V = -\frac{\mu_0 q}{2\mathcal{I}_C} \mathbf{M} \cdot \mathbf{L}$ となる.

III. 最後に, 定常電流 I が流れている回路 C の半径 a が微小である場合を考える. 定常電流 I の向きは前問 II と同じとする.

(7) C の電流 I による位置 $\mathbf{r} = (x, y, z)$ におけるベクトルポテンシャル $\mathbf{A}(\mathbf{r}) = (A_x, A_y, A_z)$ を, $|\mathbf{r}| \gg a$ の条件で $|\mathbf{r} - \mathbf{r}'|^{-1}$ を a の 1 次の項まで展開した式を利用して表すと,

$$\mathbf{A}(\mathbf{r}) = \frac{\mu_0 I a^2}{4r^3} (-y, x, 0)$$

となる. 磁束密度 $\mathbf{B}(\mathbf{r})$ を求めよ. また, $\mathbf{m}_1 = (0, 0, \pi I a^2)$ と定義すると, 磁束密度 \mathbf{B} は

$$\mathbf{B}(\mathbf{r}) = \frac{\mu_0}{4\pi r^5} [3(\mathbf{m}_1 \cdot \mathbf{r})\mathbf{r} - \mathbf{m}_1 r^2]$$

と一致することを示せ. ただし, $r = |\mathbf{r}|$ である.

答案 例えば, $\frac{\partial}{\partial x} \frac{1}{r^3} = -\frac{3x}{r^5}$ なので, $\nabla \frac{1}{r^3} = -\frac{3\mathbf{r}}{r^5}$ が成り立つ. よって,

$$\begin{aligned} \mathbf{B}(\mathbf{r}) &= \nabla \times \mathbf{A} \\ &= \frac{\mu_0 I a^2}{4} \left[\left(\nabla \frac{1}{r^3} \right) \times \begin{pmatrix} -y \\ x \\ 0 \end{pmatrix} + \frac{1}{r^3} \nabla \times \begin{pmatrix} -y \\ x \\ 0 \end{pmatrix} \right] \\ &= \frac{\mu_0 I a^2}{4} \left[-\frac{3}{r^5} \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} \times \begin{pmatrix} -y \\ x \\ 0 \end{pmatrix} + \frac{1}{r^3} \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 2 \end{pmatrix} \right] \\ &= \frac{\mu_0 I a^2}{4r^5} \left[3 \begin{pmatrix} xz \\ yz \\ z^2 - r^2 \end{pmatrix} + r^2 \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 2 \end{pmatrix} \right] \\ &= \frac{\mu_0 I a^2}{4r^5} (3z\mathbf{r} - r^2 \mathbf{e}_z) \end{aligned}$$

となる. ただし, $\mathbf{e}_z = (0, 0, 1)$ である. また, $\mathbf{m}_1 = \pi I a^2 \mathbf{e}_z$ なので,

$$\begin{aligned} \mathbf{B}(\mathbf{r}) &= \frac{\mu_0}{4\pi r^5} \pi I a^2 [3(\mathbf{e}_z \cdot \mathbf{r})\mathbf{r} - \mathbf{e}_z r^2] \\ &= \frac{\mu_0}{4\pi r^5} [3(\mathbf{m}_1 \cdot \mathbf{r})\mathbf{r} - \mathbf{m}_1 r^2] \end{aligned}$$

が成り立つ.

(8) (7) の \mathbf{m}_1 による磁束密度 \mathbf{B} に対して, 原点からの距離 r の z 軸上の位置 \mathbf{r} に別の磁気モーメント \mathbf{m}_2 を置く. $\mathbf{m}_2 = \pm \mathbf{m}_1$ のとき, それぞれ \mathbf{m}_2 と \mathbf{B} のポテンシャルエネルギー (相互作用エネルギー) V

を I, a, r を含む式で表せ. 次に, 原点からの距離 r の xy 平面上の位置 \mathbf{r} に \mathbf{m}_2 を置き直す. $\mathbf{m}_2 = \pm \mathbf{m}_1$ のとき, それぞれ同様に V を求めよ.

答案 \mathbf{m}_2 が z 軸上のとき, $\mathbf{m}_1 \cdot \mathbf{r} = \pi I a^2 \mathbf{e}_z \cdot \mathbf{r} = \pi I a^2 r$ なので,

$$\begin{aligned} V &= \mp \mathbf{m}_1 \cdot \frac{\mu_0}{4\pi r^5} [3(\mathbf{m}_1 \cdot \mathbf{r})\mathbf{r} - \mathbf{m}_1 r^2] \\ &= \mp \frac{\mu_0}{4\pi r^5} [3(\mathbf{m}_1 \cdot \mathbf{r})^2 - m_1^2 r^2] \\ &= \mp \frac{\pi \mu_0 I^2 a^4}{2r^3} \end{aligned}$$

となる. また, \mathbf{m}_2 が xy 平面上のとき, $\mathbf{m}_1 \cdot \mathbf{r} = 0$ なので,

$$\begin{aligned} V &= \mp \mathbf{m}_1 \cdot \frac{\mu_0}{4\pi r^5} (-\mathbf{m}_1 r^2) \\ &= \pm \frac{\pi \mu_0 I^2 a^4}{4r^3} \end{aligned}$$

となる.